柏崎体育史年譜資料一覽

柏崎体育団で、今から五年前、柏崎体育史の編纂を志し、明治年代以來の日刊紙、週刊紙、柏中親友會記録その他より拔萃して先づ年譜の編輯をして參りましたものを以下ここに号を追つて掲載することに致します。

柏崎体育史は昭和二十六年の北陸社會体育研究會までに完成させたいと考えましたが時間的の余裕がなく挫折し、昭和二十八年の全國都市体育研究協議会の機會を目指しましたが、完成出來ませんでした。

完成出來なかつた理由は資料、蒐集に不充分があり、最も困つたのは、昭和十六年以後の大東亜戰爭期には新聞等記録が全くないことでした。その後、体育団社會体育部副部長石黑武夫氏の努力により補備されましたが、尙各方面の資料を加えて完成を期したいと思いますので、廣く皆さんの御協力と御援助をお願いする次第です。

柏崎体育史編纂の方法は次の様に致したいと思います。

即ち、先づ史實による年譜の整備しこれまで石黑氏を中心に蒐集編輯致しました本號より継續掲載する年譜を御研討いただき、誤りと脫漏を御指摘、資料（寫眞等も）あれば御貸しいただきたい――を期したいと思います。年譜が出來ましたなら、その年譜を追い、當時の関係者にお集りいただき、その當時の事情をお聞かせいただいて、年譜の肉づけを記述して物語り風の記事と致したいと思います。最后に体育関係者若干名の旺年をしのぶ隨筆を加えたい考えであります。

近く編纂委員會を結成致したいと思いますので資料と御意見お持ちの方は是非体育団事務局へ御申越下されたいと思います。

年譜を瞥見しただけでも柏崎の体育は、郡市一体の提携、學校、青年團　クラブ、各スポーツ種目団体の協力、市民全般の理解と熱意が相混合して、体育は民衆のものとして育つて来た傾向がうかがわれます。明治より大正前期に於ける体育の剛健素ト性、青年団競技に於ける輝しい成果、學校、柏崎中學に來征、柏崎中學また長岡中學に遠試

〃40年6月　高田師範、新潟師範各劍道部柏崎中学に來試

〃40年7月　柏崎中學水泳部は第二回水泳練習會を開き教師に水府流小池德夫先生を招聘

〃4年8月　柏崎中学水泳部は遠泳大會を開き全泳者十六名

〃41年1月　柏崎中學柔道部は高田中學に遠征

〃41年8月　柏崎中学水泳部柏崎裏浜において三週間の水泳練習會を開く講師水府流小澤邦彦先生

〃43年6月　柏崎中學劍道部及野球部は高田師範に遠征

〃44年8月　柏崎中學水上運動會を開く

〃44年10月　高田師範庭球部柏崎中學に來試

〃45年3月　レルヒ中佐を講師とする高田市におけるスキー講習會に柏崎より光澤馨、北島兩氏受講

〃45年4月　柏崎中学野球部高田中學に遠征

〃45年7月　柏崎中學野球部長岡中學に遠征

〃45年9月　柏崎中學劍道部柏崎警察署と試合

大正2年2月　柏崎中學柔道部、高田師範へ遠征

〃2年2月　柏崎中學主催武術大會開催、柏崎商業、柏崎農業、柏崎警察署が參加。柏崎中学校柔道部は講道館四段中野正三氏を招聘し講習會を開く

〃2年8月　柏崎中學庭球部では早稲田大學庭球部選手を招聘し比角小学校コートで一週間の練習會を開く

〃2年9月　高田市における全國演武大會に柏崎中學柔道部より石黑敬七、品田信一郎佐藤仙次選手出場

〃2年　柏崎中學劍道教師廣木享吾氏病没し後任に光澤馨濱田芳男氏着任

〃3年2月　柏崎中学主催武道大会開催

〃3年2月　柏崎中学荒濱村までスキー行軍

〃3年5月　柏崎中學野球部は日石野球部と試合

〃3年7月　柏崎愛輪会小千谷まで遠乘

〃3年7月　柏崎裏濱で遠弓大會開催

〃3年7月　柏崎青年會組織八坂新地グランドにおいて自轉車競走會

〃3年8月　柏崎中學庭球部は早稲田大學庭球部安衛、大西萬俵各選手を招聘し練習會を開く

〃3年9月　柏崎中主催五哩遠泳大會開催全泳者三十一名市内各所に少年相撲が行われた

〃3年7月　柏中、柏商合同して水泳練習會開催、講師高田師範中島氏

〃3年8月　柏崎中学庭球部は早稲田大學庭球部安衛、大西萬俵各選手を招聘し練習會を開く

〃4年9月　柏崎中學と試合22対1柏中敗る

〃4年10月　柏崎軍は（洲崎義郎、井上敬英、遠藤寅一郎、佐藤仙次、村山元之助氏等）大勝

〃4年11月　柏崎中學庭球部柏崎中町内の少年相撲盛ん

〃5年6月　高田師範野球部柏崎中學と試合22対1柏中敗る

〃5年5月　柏崎中學にて劍道の講演及び指導

〃5年7月　柏崎中學野球部は小千谷中學に遠征大勝

〃5年8月　柏崎中學庭球部柏崎中學に來試

〃5年9月　柏崎中學劍道部柏崎警察署と試合

〃6年1月　柏崎中學校運動会

〃6年1月　柏崎中學校運動会

〃6年2月　柏崎中學庭球部柏崎中學に來試

〃6年3月　柏崎中學柔道部、高田師範へ遠征

〃6年4月　柏崎中學主催武術大會開催、柏崎商業、柏崎農業、柏崎警察署が參加。柏崎中学校柔道部は講道館四段中野正三氏を招聘し講習會を開く

〃6年5月　柏崎中柔道部小千谷中学と対戰

〃6年7月　柏崎中學野球部長岡中學に遠征

〃6年8月　柏崎中學庭球部柏崎中學に來試

〃6年9月　柏崎中學庭球部柏崎中學に來試

〃6年11月　柏崎中學庭球部柏崎中學に來試

〃7年1月　柏崎中學庭球部柏崎中學に來試

〃7年2月　柏崎中學庭球部柏崎中學に來試

〃7年3月　柏崎中學庭球部柏崎中學に來試

〃7年4月　柏崎中學庭球部柏崎中學に來試

〃7年5月　柏崎中學庭球部柏崎中學に來試

〃7年6月　柏崎中學庭球部柏崎中學に來試

〃7年7月　柏崎中學庭球部柏崎中學に來試

〃7年8月　柏崎中學庭球部柏崎中學に來試

〃7年9月　柏崎中學庭球部柏崎中學に來試

〃7年10月　柏崎中學庭球部柏崎中學に來試

〃7年11月　柏崎中學庭球部柏崎中學に來試

〃8年1月　柏崎中學庭球部柏崎中學に來試

〃8年2月　柏崎中學庭球部柏崎中學に來試

〃8年3月　柏崎中學庭球部柏崎中學に來試

〃8年4月　柏崎中學庭球部柏崎中學に來試

〃8年5月　柏崎中學庭球部柏崎中學に來試

〃8年6月　柏崎中學庭球部柏崎中學に來試

〃8年7月　柏崎中學庭球部柏崎中學に來試

〃8年8月　柏崎中學庭球部柏崎中學に來試

〃8年9月　柏崎中學庭球部柏崎中學に來試

〃8年10月　柏崎中學庭球部柏崎中學に來試

〃8年11月　柏崎中學庭球部柏崎中學に來試

〃9年1月　柏崎中學庭球部柏崎中學に來試

〃9年2月　柏崎中學庭球部柏崎中學に來試

〃9年3月　柏崎中學庭球部柏崎中學に來試

〃9年4月　柏崎中學庭球部柏崎中學に來試

〃9年6月　柏崎中學庭球部柏崎中學に來試

〃9年7月　柏崎中學庭球部柏崎中學に來試

〃9年8月　柏崎中學庭球部柏崎中學に來試

〃9年9月　柏崎中學庭球部柏崎中學に來試

〃9年0月　柏崎中學庭球部柏崎中學に來試

〃9年1月　柏崎中學庭球部柏崎中學に來試

〃9年1月　柏崎中學庭球部柏崎中學に來試

〃9年1

体育民踊の在り方

坂田四郎吉

一、体育民踊と盆踊り

私のお奬めする体育民踊は、歌曲も、手拍子も足の数や順序も、いわゆるお座敷踊りや盆踊りと大差はないのであるが皆さんは違う違うと仰言る。然り。全くその通りであります。吾が体育民踊は、料亭や宴席等でやるあの艶つぽいそして淫蕩卑猥な花柳踊りや道化踊り、さては巫山戯踊りとは、はつきり一線を劃くものであります。

しからばどう違うか。曰く体育民踊は体操踊りだと仰言る。正にその通りであります。体操踊りだから棒切れ踊りだというならば、それは認識不足で、体操は美しい踊りの基本であり、その線とそのリズムは美の極致を目指すものであるからであります。随つてイログロ踊り、無礼講踊りとはその姿態も動きも異るというのが光栄の當然であります。

二、民踊の変遷

佐渡おけさの文句に曰く「うたの節々ところで変る知らでとがめて恥かくな」とあります。例を三階節にとる。その唄い方、踊り方が所により人によつて千差萬別であります。芸妓さんのお座敷唄。レコードで名高い勝太郎節。野良で唄う雑多な唄い方。踊りもお座敷踊りに野良踊り、それも左回りに右回り、手の振り方もまたまちまちで、別に創始時代の樂譜や活動寫眞のフィルムが残つている訳でもないから、そのいずれが正調であるなどと誰が断言し得るであろうか。かの有名な佐渡おけさ、さては新津松坂にしても、僅か数十年前とは全く違つたものになつているという。これが日本民踊、そして民踊の真の姿であるというべきでありましよう。その時代々に、その所所で傑出した謡い手や踊り手のものが残るとか、あるいはその環境に、そしてその対照の好みもしくは癖の圧倒的なものが残存推移し來つた。それは精錬されて良くなつたものもあろうし、また悪くなつたものもあろうことは勿論であります。

三、民踊道の樹立

以上は單に形と動きの相違でありますが、もつと大切な本質的の違いがある。それは踊りの精神的な面であります。あの情緒豊かな旋律、それに和して踊る民踊。全く吾々民族の魂を浄化し、慰樂鼓舞してやまぬものがあり、それは立派な文化財であります。これを徒らに遊蕩花柳の巷や、風俗紊乱の泥土にまみれさせて置くことは余りにもつたいない。これを社會教育、庶民体育の聖材に置き換えたのが吾が体育民踊であります。「民踊を教育に」私はこれを提唱して二十余五年今や幸いに民踊運動が全國的に盛り上りつつあることは誠に宜なる哉であります。しかしながら民踊に對する一般の認識は決して當を得ているとは申されません。私は民踊の價値をより高揚するために、民踊を「道」にまで進めることに專念しておる次第でありますが、「民踊道の確立」、これは庶民体育振興と共に私の終生を貫く、光栄ある事業であり使命であると考えております

四、体育民踊の在り方

音樂もしくは歌謡には美しい感情を養い、あるいは吾々民族を善導鼓舞してくれるものもあれば人をして墮落頽廢の世界に沈倫させるものもある國を起す音樂もあれば、国を亡ぼす音樂もあるとか、踊りもまた然りであると思います。

現在全國に帰されてある民謡、そして民踊、それに新らしく生れるものがあつて、その数はいくばくか、恐らく数え切れない程のものがあるでしよう。勿論美醜善悪種々雑多でありますが、わが体育民踊は、その中から左の條件に照して選択取材するのであります。

一、歌詩の良いもの
二、歌曲の良いもの
三、踊りの良いもの

これであります。たゞし社会教育上から見て、以上の三條件にぴつたり当てはまるものがザラにある訳ではないが、一部修正すればすばらしく良くなるもの、それを改修選択する。これが体育民踊であります。随つてお座敷踊りや野良踊りと違う場合が多い。たゞし三階節は、私が四十年前から三階節の本場であり中心地ともいうべき柏崎神社境内の野良踊りの長所を全面的に生かそうとしたものであるが、かくして現在お奬めしているものは全國に亘つて五十余種目（古い物をあげれば百種に超えんとする）であります。

五、体育民踊は踊る踊り

私は体育民踊をお伝えする集會には必ず、

第一に時間を守ること
第二に平常着を着換えぬこと
第三にみんなが踊ることの三條項を強調しております。

そもそも踊りには見せるためのものと、踊ることそのものを樂しむ踊りとがある。芸妓や遊芸人の踊りが前者であり、民踊、なかんずく、体育民踊は純然たる後者であります。

人、生れながらにして唄いかつ踊ることを全然嫌いの者はないということであるが、踊らぬという理由はなんらかの感情にとらわれているものであり、また見せる、見る、等の認識から恥かしい、くすぐつたい等の心理が禍いしているのであると思います。一擧その殻から脱け出して一たび踊りの境地に踏み込めば、韓然として人間本來の魂が甦り、そこには全く思い設けぬ心の浄土が開けてゆくことは、私の御指導申上げた幾万の方々の体験がこれを証しておるのであります。

從らに、ワイセツ低劣の文句や艶つぽい姿態や道化た動作をやらなければ興味のないような民踊に、そして酒席でなければあるいは夜でなければ踊れぬ民踊に教育上から存在の価値があるであろうか。なお又見せる踊り見て樂しむ踊り、それは真の民踊ではなく、あるいは美服をまとうのでなければ踊れぬ踊り、巧者でなければ踊らぬ踊り、それは大衆のもの庶民の物ではあり得ない。作業服のままでかつは貴賤貧富の別ちなく、手の舞い足の踏むところに人間性の欲びを味わい、豊かな人生を築き上げる。これが吾が体育民踊であります。

最後にニューヨーク・タイムスの有名なダンス評論家ジョーン・マーチンの言をあげて結びと致します。

『踊り手が自分の樂しみのために踊ることを止めて、見物がこの踊の出來をどのように思つているだろうかと考え始めるやいなや、やつていることの本來の精神から離れ、その本質的な性格を變えてしまうのである』

と。これ程適確に吾が体育民踊の本質をいい現わす言葉はありません。

柏工・常盤が優勝

上越高校バレーボール選手權大會兼縣下高校新人大會

上越蓮選會は1月30日午前九時より柏高、柏工、常盤高の三コートで挙行し男子柏工、女子常盤にそれ〳〵優勝した。

戦跡次の通り

△男子の部

一回戦
高田商2—0柏崎農
柏崎工2—1高田工
柏崎商2—1高田高

二回戦
柏崎商2—0柏崎高
柏崎工2—0高田商

三位決定戦
柏　高2—0高田商

決　勝
柏　工2（21—8, 21—17）0柏崎商

△女子の部

一回戦
柏崎高2—0高田家政

高田女実2—1柏崎商

二回戦
高田北城2—1高田女実
柏崎常盤2—0柏崎高

三位決定戦
高田女実2—1柏崎高

決勝戦
柏崎常盤2（21—19, 19—21）1高田北城

体育史資料

(4)

三十三年前の私の日記から

グラウンド建設の年 朝起会の始つた年

紫楼生

大正十二年は、柏崎体育史上にも、私自身にも多感な年であつた。目下石黒武夫氏によつて、柏崎体育史編纂中であるから、その資料提供の意とグラウンドについて認識を新にして戴きたいと存じ体育に関係ある部分を抜いて茲に掲載して戴く次第である。

大正十二年

五月一日

私の体は愈々多忙になる。朝体操會を八坂でも始めようと云う事になつた。今夜から夜学が始まるのだ。

五月二日

私の活動表

一、午前四時半起床
二、〃五時より本町二丁目朝起會
三、〃五時廿分より閻魔堂境内の朝起會
四、七時半登校
五、午後二時よりランニング練習
六、〃五時半より青年競技練習
七、〃七時より夜学

五月三日

全校（三年生は居残る）修學旅行。

尋一＝鯨波、尋二＝同上
尋四＝長岡、尋五＝高田
一泊、尋六＝弥彦一泊、
高等科＝全体＝新潟一泊

五月五日

増俸辭令來る六十五円となる、遊廓浦のランニング練習の帰りに小林眞一郎青年団理事と僕の下宿に來て快談

夜は本町八丁目青年団の例會に行き熱辯？を振つた。

五月六日

昨夜より今朝二時半まで柏崎日報之の原稿をかいたので、寝すごして目醒めたのは五時半である。朝起會に後れてすつかり面喰つてしまつた。始めての失敗で終日憂鬱であつた。

五月十日

郷里中鯖石青年団の競技會に參會。スターターを承る。

五月十二日

大運動場・地鎮祭
起工式・祝賀會

欣喜雀躍、役場の小林樣郡役所の藤田樣と共に準備委員として活躍した。午前八時半から敷地の中央に祭壇を設け午前十一時、神官五名にて奏樂裡、壯厳に地鎮祭を執り行つた。

終つて幼稚園にて祝賀の宴であつた。會長副會長その他役員、新聞記者等參列であつた。長谷川警察部長さんと私も席末に連なるを得た。

五月十四日

長岡の県下少年オリムピック大會に我が校も參加が出來る由北越新報に発表となつた。

五月十五日

旭町青年会集會に臨み、青年と体育と題してしやべる。

西巻君（稲葉千代平先生のこと）が大阪のオリムピック豫選に出場すべく午後三時半の上りで出發された。比角校の生徒が優勝旗三本を押し立てゝの見送りで盛んなものであつた。中学生も多数出ていた。

五月廿五日

大運動場地均し開始につき、山田技師立会い、川合請負者と實地検分。

五月廿六日

大運動場工事、トロ敷をやつた。

ランニングのタイム日、青年も夕刻タイムを取る見物人多くて盛んな競技會のようだつた。

五月廿八日

大運動場地均し開始、トロ二台にて。

西巻樣よりの依頼による原稿完結西巻樣に送る。

夜に島町青年團にお話する。

五月十九日

農商務大臣荒井賢太郎閣下來校、生徒に対してお話あり、後町内有力者の歓迎會が催された。（荒井大臣は元当校の職員）

五月二十四日

青年の競技練習の爲めに遊廓浦グラウンド借用の件真貝儀八氏に交渉して許諾された。

五月廿五日

大運動場地均し開始つき、山田技師立会い、川合請負者と實地検分。

五月廿六日

大運動場工事、トロ敷をやつた。

ランニングのタイム日、青年も夕刻タイムを取る見物人多くて盛んな競技會のようだつた。

五月廿八日

大運動場地均し開始、トロ二台にて。

さんよ奉賛 前夜に競う豪腕

縣下腕相撲大會

さんよ奉賛第六回県下腕相撲大會は恒例の三月三日の押合祭り前夜を採り午后六時より田町常福寺に於いて開催された日頃鍛えた腕に一層のよりをかけ、我こそは県下一の豪腕ならんと熱のある奮闘振りを示し、一般の部では一昨年の優勝者今井信義君（比角七區）が優勝するところとなつた、今井君はこれで三度の優勝の榮を得た

戦跡次の通り（トーナメント）

個人選手權の部

△小學五年生
① 高橋吉男（柏崎小）

△小學六年生
① 柳満夫（比角小）
② 李　群（比角小）
③ 松崎日出男（比角小）
④ 小林忠（柏崎小）

△中学一年生
① 平田文男（二中）
② 德間謙吉（西中）
③ 藤巻義雄（二中）
④ 金田廣考（二中）

△中學二學生
① 杵淵敏彦（槇原小）
② 石黒堯（柏崎小）
③ 帆刈洋次郎（槇原小）
④

△小学六年生
① 早津成吾（三中）
② 品田六郎（西中）
③ 浦沢勝二（三中）
④ 村山昭司（三中）

△中學三年生
① 猪浦勝二（三中）
② 小林敏夫（一中）
③ 桑原義則（二中）
④ 村山幸一（三中）

△一般の部
① 今井信義（比角七区）
② 佐藤敏隆（鯨波）
③ 中澤福一郎（鍋町）
④ 牧口銀藏（枇杷島）

三人抜選手權の部

△小学四年生以下
小林五郎（柏小四年）
阿部洋三（比小四年）

△小学五年生
高橋吉男（柏小）石黒堯（柏小）

△小學六年生
松崎日出男

△中学一年生
藤巻義雄（二中）、平田文男（二中）

△中學二年生
早津成吾（三中）浦澤勝二（三中）

△中学三年生
土田照夫（三中）猪浦潔（三中）

スキーが「カンヂキ」に負けた話

わけのわからぬものを買うより、農業科の鍬でも買えと反対されて困つたよ。

と、これは明治四十五年頃の今から四十五年も前の話であります。

「上野先生」

「大いに説明これ努めて可決させ、さてスキーを買つたはよかつたが、サア、雪艇と「カンヂキ」と競走と云うことになつた。ところが雪艇が負けてしまつた。イヤ弱つたね。そこで又非難ごうごうさ」

上野先生と私は、当時を思い出して、「ワツハツハハハー」と大笑いするのでありました。

當時、高田の十三師團では塊団からレルヒ中佐を迎えて、日本で始めてのスキーをやつたのでありました私は當時鯖石校の代用教員をやつていたので、同僚の長谷川良一訓導と共に上野校長先生にスキーの購入を懇願した所、それは大によろしいとあつて、早速村会にはかつて納得させ、高田から一台仕入れたのでありました。スキーとはどんな形をしているものかと心を躍らせ乍ら、六尺もある長いこも包みを解いて見るのであります。二人であれやこれやとやつとこさ組み立てたのは、竹の子はつじようの塊國式で竹の一本枝昼間は恥かしいので、夜を待つて月夜を幸に學校の裏畑の経斜面でこつそり初乗りという訳でした。然るに残念乍ら一尺も滑らぬうちに転んでばかり居てどうにも前進が出來ないので、二人がほうほうの態で當直室に歸つて夜具の中にもぐり込むのでありました。

翌日更に二人して上野校長先生に御願いし、青年団に呼びかけて高田のスキー講習会から歸られた柏崎中学の北島、光澤両先生を迎いて講習会を開催するのでありました。これが聯て刈羽柏崎に於けるスキーの發祥でありました。スキーは鯖石校を中心として急速に普及し、大日本スキー倶楽部刈羽郡支部を結成し、鯖石校に於て郡長以下刈羽柏崎の有力者を招き、大々的に發會式を挙行したのでありました。講習會で、廻はれた。山足、谷足、電光形昇りを習つて八石登山をやる、黒姫にも登ると云うわけでした。

スキーそのものも、技術も今から思うと幼稚なものでありましたが、手製のスキーに藁靴でのスキー乗りが、ワンサ〳〵と居た事は今は昔の懐しい思い出であります何千何万もの金をかけなければ乗れないようなスキー乗りが、どんなにスキーの大衆化を防げているかを考える必要はないのでしようか。

× ×

3日　県下春季軟式庭球地区大會兼第二回都市対抗柏崎地區予選會

8日　柏崎バレーボール祭

8日　上越高校体育大會

15日　全軟野球柏崎地区第一次予選會

15日　讀賣兼國体準硬式野球柏崎地區大會

15日　第五回佐藤楯軟式庭球大會

22日　全軟野球柏崎地區代表決定大會

28、29日　新潟縣インターハイ陸上競技選手權大會

29日　國体軟式野球柏崎第一次豫選會

中　市内高校OBバスケットボールリーグ戦

中　市長杯高校野球リーグ戦

中　スキー映画會

六月

4、5日　讀賣旗爭奪兼第十回國体準硬式新潟県代表決定野球大會

21日　柏崎市中学校野球大會

12日　上越地區春季体育大會

12日　水上競技大會兼上越高校選手權水上競技大會

12日　第9回市長杯庭球大會

19日　市内高校バスケットボールリーグ戦

25、26日　全國高校男子バレーボール大會縣豫選會

25、26日　全日本、東日本對抗及個人選手權大會兼國体県豫選庭球大會

聖火リレーに体育団援助

次いで三日多聞天押合祭りは聖火リレーから開幕した午后六時発祥地上條村佐水より殷々と鳴りひびく煙火の中を發走「さんよ〳〵」と気合をかけ延々十粁の間受継がれた殷賑な沿道をぬつて七時田町常福寺へと安置され、少年の部の押合から幕が切つて落された

四・五・六月体育行事【柏崎關係】

四月

10日　野球場開き兼第十回東日本準硬式野球柏崎地區予選會

17日　陸上競技通信記録会

〃　市内春期バレーボール選手權大會

29日　春季北信越五縣高校野球柏崎地區豫選會

五月